沖縄県

考えよう。みんなが暮らしやすいまちづくり。
ココロつながるプロジェクト

障害のある人を特別扱いするのではありません。
『障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例』は障害のある人とない人が同じような生活を送るために、おたがいに必要な「ものさし」です。

「知ってる?」障害に関する10のマーク

街中には障害に関するたくさんのマークが表示されており、
それぞれに大切な意味があります。
正しく理解して協力しましょう。

障害者のための国際シンボルマーク

障害者が利用できる建築物、施設であることを示している。すべての障害者を対象としている。

身体障害者標識

肢体不自由者であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示されている。

聴覚障害者標識

聴覚傷害者であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示されている。

視覚障害者のための国際シンボルマーク

視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられている。

耳マーク

外観からは判断されにくい聴覚障害者への配慮をしやすくするため、身につけたり提示したりする。

ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬同伴の啓発のために施設や店の入口に表示されている。

オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを示している。

ハート・プラスマーク

外観からは判断されにくい内部障害のある人への配慮をしやすくするため、身につけたり提示したりする。

ヘルプマーク

外観からは判断されにくい障害や疾患などがある人が、支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせるマークです。

マタニティマーク

周囲が妊産婦への配慮をしやすくするため、妊産婦が身につけている。

コミュニケーションの工夫

- 思いを伝えたり、情報を知る方法は、声以外にもいろいろあります。
- 手話、筆談、要約筆記、磁気ループ※1など、コミュニケーションの方法は様々です。
- 書類には漢字によみがなを入れる、絵や図、見やすい色や大きさの文字を使う、わかりやすい言葉づかい、点字の使用などの工夫で、多くの人が理解できます。

※1 磁気ループとは・・・
補聴器を使っている人が聞きたい声を聞きやすくする機器です。

わたしらしい暮らし、はじまる!

- バリアフリー※2な建物が増えれば、障害のある人の活動の場が広がります。
- 福祉が充実することで、病院や施設で生活していた人が地域の中で暮らせるようになります。
- 障害のみを理由として、アパートが借りられないことはありません。

※2 バリアフリーとは・・・
階段をスロープにしたり入り口を広くしたり、みんなが使いやすいように整えること。

学校でみんなと同じように学びたい

- 必要な支援が充実すれば、障害のある子どもが色々な教育を受けられます。
- 障害のある子とない子がいっしょに学んだり遊んだりすれば、お互いの心の成長につながります。

職場で活躍するチャンス

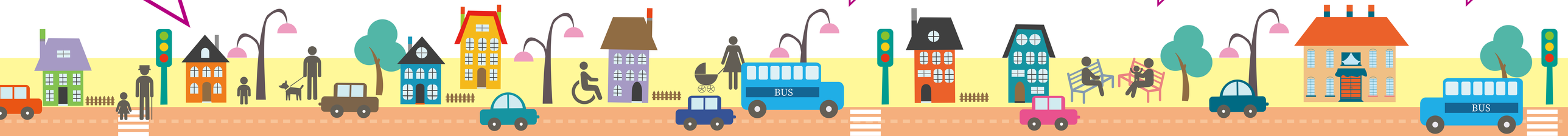
- 障害があっても、必要な配慮があれば、それぞれの力に合わせて色々な職場で活躍できます。
- 仕事の向きや不向きなどの理由がないのに、障害のみを理由に給料や労働時間が変わることはありません。
- 仕事の向きや不向きなどの理由がないのに、障害のみを理由に雇うかどうか判断されたり、やめさせられることはありません。

うれしいね、インクルーシブ※3なまちづくり

- ノンステップバスなどの乗り物が増えれば、誰でも自由に行きたい所へ行けるようになります。
- 歩道に車を停めたり点字ブロックの上に物を置くこと、車いすマークの駐車場に必要でない人が駐車することはマナー違反です。
- みんなが利用する建物や乗り物は、障害を理由に利用を断られることはありません。

※3 インクルーシブとは・・・
障害のある人もない人もみんながうれしいこと。

みんなで食事やお買い物、お店もにぎわう

- 障害を理由として買い物やお店に入ることを断られることはありません。
- スロープやトイレのつくり、メニューや案内板の工夫(点字や見やすい表示)、席の並べ方もサービス次第で使いやすくなります。
- 補助犬※4は、公共施設だけでなく、スーパーや飲食店、ホテルなど色々な場所に同伴できます。

※4 補助犬とは・・・
介助犬、聴導犬、盲導犬のこと。